

群馬県におけるメディアを活用した広報

～『ドボクリップ～私がキリトル土木の未来～』令和3年4月放送開始～

いそ 磯
あんな 杏奈*

1. はじめに

建設産業は、社会資本の整備と維持管理の「担い手」として、さらには災害時における地域の安全・安心の「守り手」として重要な役割を担っている。

しかしながら、本県では全国平均よりも就業者の高齢化率が高く、29歳以下の若者の割合が低い傾向にあり、このままでは担い手の減少により、持続的な社会資本の整備と維持管理が立ち行かなくなることが懸念される。そのため、将来にわたって、社会資本の着実な整備や適切な維持管理を推進し、地域の安全・安心を確保するためには、建設産業の担い手の中長期的な確保の支援が必要不可欠な状況となっている。

こうした状況の中、本県では、将来を担う若い世代に建設産業に興味を持ってもらい、建設技術者を志す人材の拡大につなげるため、その魅力ややりがいを伝えるテレビ番組の制作・放映を行っている。

ここでは、今年の4月に地元のテレビ局である群馬テレビ（株）で放送を開始した「ドボクリップ～私がキリトル土木の未来～」を中心に、本県におけるメディアを活用した広報について紹介する。

【ドボクリップの概要】

- ①放送期間：令和3年4月～令和4年3月
- ②放送日時：毎月最終金曜日の19：45から
（再放送：二日後の日曜日の18：45から）
- ③群馬テレビ（株）で放送（15分番組）



QRコード

④企画・提供：群馬県

提供：（公財）群馬県建設技術センター

協力協賛：（一社）群馬県建設業協会、（公社）土木学会関東支部群馬会、（一社）群馬県測量設計業協会、群馬県交通安全施設業協同組合、群馬県建設技術協会



図-1 ドボクリップ ポスター

*群馬県 県土整備部 建設企画課 主幹

2. これまでの取り組み

本県では、土木施設や建設産業の魅力などを発信するため、平成29年度から群馬テレビ（株）で広報番組を放送している。

1) 平成29年度～令和1年度の3年間放送：

「BIRD'S-EYE I～Ⅲ」（令和元年度全建賞受賞）

「BIRD'S-EYE」は、ドローンで撮影した映像などを駆使し、土木施設の役割や魅力を伝える5分番組である。ドローンを使うことによって、土木施設ならではのスケール感やダイナミック感を演出している。（公財）群馬県建設技術センター、国土交通省、東日本高速道路（株）、（独）水資源機構及び関係業界団体と協力し、幅広い施設を紹介した。

2) 令和2年度に放送：「@！（アッと）驚くぐんまのヒミツ ～土木探検隊が行く～」

「@！（アッと）驚くぐんまのヒミツ」は、最前線の現場で活躍する技術者にスポットをあてた15分番組である。人気タレントや芸人が「土木探検隊」を結成し、普段見ることができない土木施設や建設現場に潜入し、@！（アッと）驚く群馬のヒミツを伝えた。

3. 令和3年度に放送を開始：

「ドボクリップ～私がキリトル土木の未来～」

1) 新たな取り組み

「ドボクリップ」では、若い世代に興味を持ってもらう仕掛けとして、人気女性モデルを起用した。

人気女性モデルと土木施設という異色の組み合わせを採用することで、建設業に興味のない若い世代に番組を見てもらおうきっかけを作る。

2) 番組内容

番組では、高橋ユウさんら人気女性モデルを「キリトリスト」と呼び、「キレイ！」や「すごい！」などの土木施設の外観美や、そこにまつわる人々の思いなどを、「キリトリスト」の目線で写真にキリトル。

その写真を紐解くことで、土木施設の新たな魅力を発見するというものである。

複数の「キリトリスト」を登場させることで、それぞれの「キリトリスト」に興味を持つ、より多くの視聴者の獲得を図る。また、それぞれの「キリトリスト」が異なる視点で土木施設の魅力を発見する

という面白さを演出する。

3) 広報戦略

これまでの広報（報道提供やHPなど）に加えて、「ドボクリップ」では、QRコード付きの番組特製ポスターの作成・配布を行った。県内の土木系高校や大学のほか、紹介する土木施設や道の駅などに幅広く掲示し番組の周知を行っている。また、若い世代への情報発信を目的に、Instagramに写真を投稿しており、QRコードから閲覧可能である（図-1）。

ポスターは、ファッションモデルとして活躍している高橋ユウさんをモデルに、令和2年3月末に完成したハッ場ダム（群馬県吾妻郡長野原町、国土交通省）で撮影した。

堤高116.0mのハッ場ダムをバックに、鮮やかな衣装を着た高橋ユウさんを撮すことで、そのコントラストから興味を引く工夫をしている（図-1）。

なお、本県では、SNSや動画配信などのネットメディアを活用した情報発信力を強化するため、民間からネットメディア戦略アドバイザーを任命している。「ドボクリップ」の企画・制作やポスター作成等では、メディア戦略アドバイザーによるアドバイスを受け、より良い番組作りに努めている。

4) #1 ハッ場ダム（令和3年4月30日放送）

キリトリスト：高橋ユウさん

番組のポスターにもなっているハッ場ダムを舞台に、高橋ユウさんと写真映えするスポットを紹介。また、ハッ場ダムを管理する国土交通省関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所ハッ場ダム管理支所長に建設当時の苦労ややりがいなどをインタビューした（写真-1）。



写真-1 #1 ハッ場ダム
キリトリスト：高橋ユウさん

5) #2 わたらせ^{けいこくてつどう}溪谷鐵道と関連施設群

(令和3年5月28日放送)

キリトリスト：鈴木ちなみさん

駅舎やトンネル、橋梁などが土木遺産に認定されているわたらせ溪谷鐵道を舞台に、鈴木ちなみさんが心に残った景色をキリトった。地域に支えられているわたらせ溪谷鐵道の「今」「歴史」「未来」を紹介した(写真-2)。



放送日5月28日(金)
よる7時45分～

写真-2 #2 わたらせ溪谷鐵道と関連施設群
キリトリスト：鈴木ちなみさん

6) #3 東毛^{とうもう}広域幹線道路とその周辺道路

(令和3年6月25日放送)

キリトリスト：加藤ナナさん

平成28年に「高崎駅東口」から板倉町までの約59kmが全線4車線で開通した東毛広域幹線道路を、加藤ナナさんが県女性土木職員とドライブし、心に残った景色をキリトった(写真-3)。



放送日6月25日(金)
よる7時45分～

写真-3 #3 東毛広域幹線道路とその周辺道路
キリトリスト：加藤ナナさん

7) 撮影についての工夫

群馬テレビの撮影では、2～3台の一眼レフカメラ(4K)を使用し、編集時はシネマ風に補正している。土木施設や出演者がよりカッコよく、より映えるよう工夫を凝らしている(写真-4)。

8) #1キリトリスト 高橋ユウさんからのコメント

#1 ハッ場ダムのキリトリストである高橋ユウさんからコメントをいただいた。

「私はこの番組を通じて、群馬県にあるハッ場ダムを訪ねました。実際にダムを訪れたのは初めてで、またダムの建設に携わった方のお話を聞いたのも初めてでした。沢山の人の思いや協力があって完成したダムは更にとても偉大に感じました。建築物自体も、またそこから見る景色も、全て人の思いが繋がっているんだなあと感じていただける番組になっていると思います。またいろんなところに訪れたいと思っています。」



写真-4 #1 ハッ場ダムでの撮影風景

4. おわりに

我々の生活に欠くことのできない建設産業の健全な発展に向け、メディアを活用した広報活動を通じて、魅力ややりがいなどを発信し続けることにより、これからの建設産業の担い手となる若者の安定的かつ持続的な確保を支援していきたいと考えている。

※「ドボクリップ」は、「Mキャス」無料アプリを使って、全国どこでもリアルタイムで視聴可能です。

※「ドボクリップ」[BIRD'S-EYE]は^{ツルノス}tsulunossやYouTubeで視聴可能です。なお「ドボクリップ」は随時更新予定です。

群馬県ホームページ「県土整備部の取り組み」の「わかりやすい広報の展開」からご覧下さい。

<https://www.pref.gunma.jp/06/h0110024.html>



【著者紹介】 磯 杏奈 (いそ あんな)

平成15年度群馬県入庁(総合土木職)。県土整備部藤岡土木事務所技師をはじめ、伊勢崎土木事務所主幹等を経て現職。